

感染症発生状況

令和7年10月10日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年9月29日（月）～10月3日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 471名 【職員】 20名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 94名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（156名）、咳鼻水（143名）、下痢腹痛（32名）、嘔気嘔吐（12名）

疾病別：気管支炎・肺炎（32名）、胃腸炎（12名）、溶連菌感染症（10名）、
伝染性紅斑（リンゴ病）（6名）

【職員】 症状別：咳鼻水（7名）、下痢腹痛（4名）、熱（2名）

疾病別：新型コロナウイルス感染症（8名）、インフルエンザ（4名）、胃腸炎（1名）

**初秋に入り、乳児の呼吸困難を伴うRSウイルス気管支炎が流行し始めました。
激しい咳き込み、喘鳴が見られたときは早めに小児科受診をお勧めします。**

【疾病別の発生状況】

気管支炎・肺炎	河北地区で増加しました。河南地区で減少しました。
胃腸炎	厨川地区、河北地区、都南地区で増加しました。 盛南地区、河南地区で減少しました。
溶連菌感染症	河北地区、都南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。
伝染性紅斑（リンゴ病）	河南地区で増加しました。

【県の状況（9/22～9/28）】

水痘（入院例）の報告が1例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。

百日咳の報告が14例ありました。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は1.41人となりました。一関、中部地区で警報値（2.0人）を超えています。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症ですが、妊婦が感染すると胎児の異常や流産の危険性が生じる場合があります。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は5.83人となりました。高齢者施設では2件のクラスターが発生しました。高齢者や基礎疾患のある人は重症化のリスクがあるので、ワクチン定期接種を検討してください。今後も手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり患者数は4.78人となりました。胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいため、石けんと流水による手洗いが重要です。調理や食事の前、トイレの後は手洗いをしましょう。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用して塩素系消毒剤で処理してください。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】